

なかつか 亮



品川区に住み続けたい 91.5%の深層

実は…理由の8割「交通の便がよいから」

子育て、教育、高齢者が住みやすいは1割のみ

「91.5%」と大きく記す公明党のポスターが張り出されました。自民党も今年3月末に同主旨のチラシを配布。どちらも濱野区長と自公などと与党が進める品川区政が、住民から「高い支持」を受けているように描かれています。

ところがこのアンケート結果は品川区への高い支持ではなく、区民の生活不安の表れだと言う事がわかりました。

第20回区民アンケート

この調査は第20回品川区世論調査(平成24年)で区が2年に一度、実施しているものです。

ずっと住み続けたいは5割

設問の1つが「これから品川区に住みたいと思いますか」です。回答は「ずっと住みたい53.8%」「当分は住みたい37.7%」「あまり住みたくない1.7%」「その他」です。

自民党や公明党が説明する「品川区に住み続けたい91.5%」

とは「ずっと53.8%」「当分は37.7%」の合計なのです。また区民の高い定住意向は、調査が始まった昭和51年から常に89割なので「91.5%」だけで現区政が「高い支持」とは、やはり無理があります。

理由「交通の便が良い」

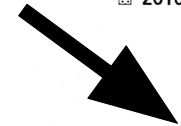
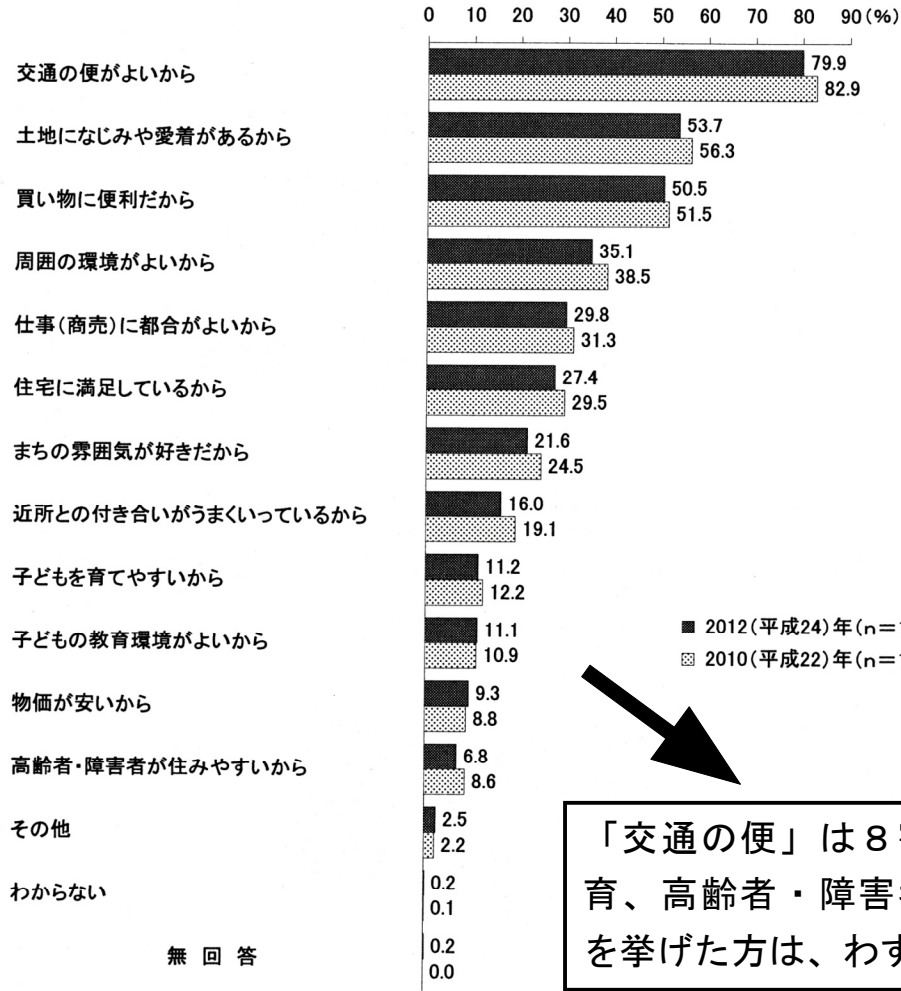
次の設問は「これからも住みたいと思う理由は何ですか」です。その結果、理由の1位は「交通の便がよい79.9%」。次に2位は「土地になじみや

愛着がある53.7%」、3位は「買物に便利50.5%」です。(裏面参照)

1位の「交通の便」ですが、西大井駅開設は28年前ですから、現区政への評価とは直接の関係はありません。むしろ「交通の便が良い」が多いという事は、29号線や31号線など新たな道路づくりを必要とする特段の区民要望は、皆無という事ではないでしょうか。



●第20回品川区世論調査（品川区平成24年実施）より抜粋
 「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と答えた方に、これからも品川区に住みたいと思う理由は何ですか。（〇はいくつでも）



「交通の便」は8割。「子育て、教育、高齢者・障害者の住みやすさ」を挙げた方は、わずか1割のみ

品川区は

住み続けにくい？

上は調査報告書の抜粋。住みたい理由に「交通の便が良い」が多い一方で、「子どもを育てやすい」「教育環境が良いから」「高齢者・障害者が住みやすいから」は、わずか1割です。つまり「住み続けたいけど、住み続けにくい」が区民の姿ではないでしょうか。また別の設問について、生活環境5段階評価（良い、やや良い、普通、やや悪い、悪い、無回答）では「交通の便」は「良い、やや良い90・1%」と一番高い一方で、高齢者のための施設（特養ホーム）は「良い、やや良い18・5%」。「普通61・2%」。「やや悪い、

悪い13・7%」。子どものための施設（保育園）は「良い、やや良い22%」、「普通56・9%」、「やや悪い、悪い14・5%」。これら医療・福祉の結果について、区は中間点よりも区民評価が低いことを報告書で記しています。

特養ホーム「中の下」認可保育園「入れない」

特養ホームはあと3施設増設しても入所は申し込んでいる方の半分。整備率は23区で15番目と中の下。認可保育園は4月時点で1131名の子どもが入園できませんでした。今こそ無駄な道路建設はやめ、特養ホーム・認可保育園増設こそ。区調査からもそれは明らかです。なかつか亮

次回の気軽な町の無料法律相談会は日程が決まり次第、お知らせします